イッコイチ BOX 2.5 SATA

CSG25FU2S
取扱説明書

【はじめに】

このたびは「CSG25FU2S」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿気や水気のある場所では使用しない
台所や風呂場等の、湿気や水気のある場所では使用しないでください。機器の故障や、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取り扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかける恐れのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠注意

■設置場所に関しての注意事項
以下の様な場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・熱、暖房器具（ストーブ、アイロン、ヒーター等）の近く。
・油煙や湯気のあたる調理台、加湿器等湿気の近く等ほこりや湿気の多い場所。
・直射日光のあたる場所。

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

【特長】

● 2.5 インチ SATA HDD/SSD に対応！
● USB2.0 & FireWire400 のコンボ接続！
●バスパワー駆動対応！（USB & FireWire）
●信頼と実績の OXFORD チップ採用！

【制限事項】

・本機からの OS 起動はサポートしておりません。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本製品は 2.5 インチ SATA（シリアル ATA）HDD/SSD 組み込み用です。

【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきます様お願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・Windows は Microsoft Corporation の 登録商標です。
・Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。
・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

【製品仕様】

型番	：CSG25FU2S
商品名	：イッコイチ BOX 2.5 SATA
インターフェイス	：USB2.0/FireWire400
USB コネクタ形状	：USB ミニ 5 ピン
FireWire コネクタ形状	：IEEE1394a 6 ピン
寸法	：幅 75mm × 高さ 17mm × 奥行 127mm（突起部含まず）
重量	：143g
温度、湿度	：温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80% （結露無き事、接続する PC の動作範囲内である事）

【製品内容】

■ CSG25FU2S 本体
■ 専用キャリングケース
■ USB2.0 ケーブル
■ FireWire 400-800 ケーブル
■ HDD 固定用ネジ × 4
■ ゴム足 × 4
■ 取扱説明書／保証書

専用キャリング
ケース

HDD固定用ネジ
×4

ゴム足×4

取扱説明書/保証書

【各部名称】

●前面

●背面

【対応機種】

USB接続の場合

Windows	・USB2.0 インターフェイスポートを搭載した PC/AT 互換機(USB2.0 モード動作時) ・USB1.1 インターフェイスポートを搭載した PC/AT 互換機(USB1.1 モード動作時) ・Pentium 1GHz/ メインメモリ 512MB 以上 ※intel チップセット搭載モデル推奨。 ※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller 搭載 PC は、USB Host Controller の問題で正常に動作しない可能性があります。
Macintosh	・MacPro、Power Macintosh G5、Mac mini、eMac、iMac、MacBook Pro、Power Book G4、MacBook、iBook G4(USB2.0 インターフェイス標準搭載モデル)

FireWire(IEEEE1394)接続の場合

Windows	・FireWire400 または FireWire800 インターフェイスを搭載した PC/AT 互換機。
Macintosh	・FireWire400 または FireWire800 インターフェイスを標準搭載した Macintosh

FireWire接続時の注意

・お手持ちのPCに搭載されているFireWireコネクタが、6ピン(FireWire400)の場合、別売のFireWire6ピン-6ピンケーブル、もしくは9ピン-6ピン変換アダプタが必要になります。
・お手持ちのPCに搭載されているFireWireコネクタが、電源供給されない4ピンタイプの場合は、別売のFireWire6ピン-4ピンケーブルとACアダプターが必要になります。

【対応 OS】

Windows	・Windows7(RC2) / WindowsVista / WindowsXP / Windows2000 ※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE / Windows 3.x /Windows NT / Windows Me では動作しません。
Macintosh	・Mac OS X(10.3 以降) ※USB接続でご使用の場合、USB2.0ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。

【対応 HDD】

■ SSD
・MLC タイプの 2.5 インチ SATA SSD
※本製品は 2.5 インチ SATA SSD 接続専用です。1.8 インチ SSD や、PATA、ZIF、Micro SATA、SATA Slimline および特殊形状の SSD（Asus EeePC の内蔵 SSD 等）は接続できません。

■ HDD
・SATA 仕様の 2.5 インチ 9.5mm 厚 HDD
※本製品は 2.5 インチ SATA HDD 接続専用です。
※ PATA HDD は接続できません。

弊社動作確認済み SSD	
CFD 販売	**CSSD-SM64NP**（PHISON 製コントローラチップMLC） **CSSD-SM120NJ**（Jmicron 製コントローラチップMLC）
トランセンド	**TS32GSSD25S-M**（Jmicron 製コントローラチップMLC）
動作確認済みSSDにつきましては弊社ウェブページにて随時更新いたします。	

※製品の性質上、全ての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

【ハードディスクの組み込み方法】

■ハードディスク接続の前に

⚠警告	・ハードディスクを接続する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。 本機の電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

・ハードディスク接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になる事があります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

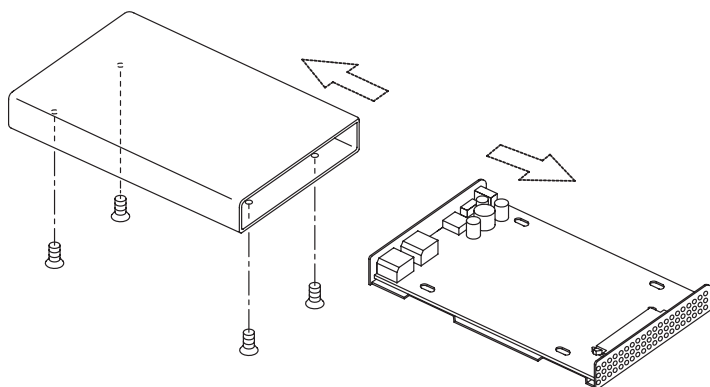
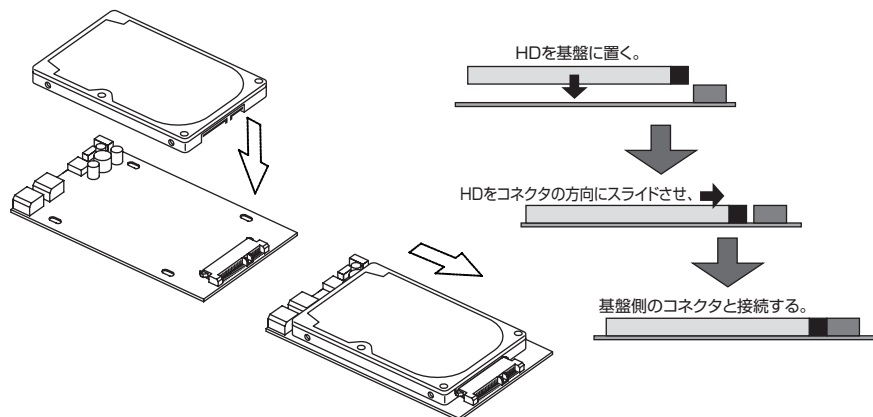
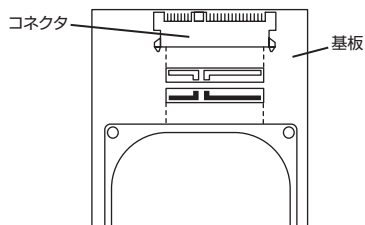
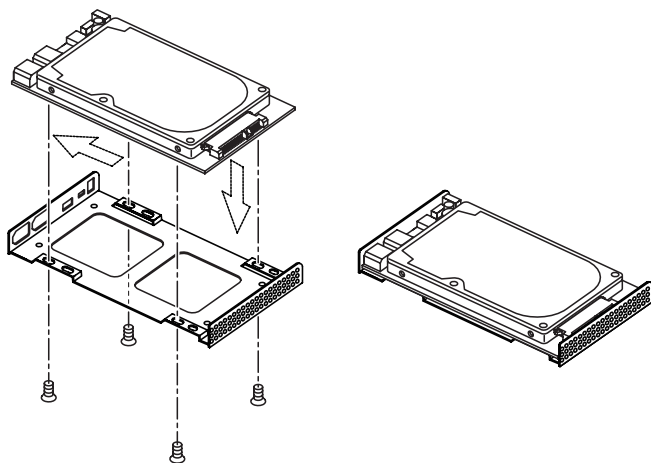
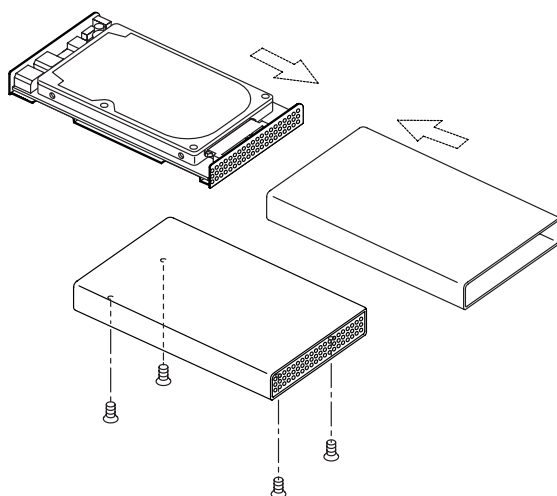
■組み込みの前に

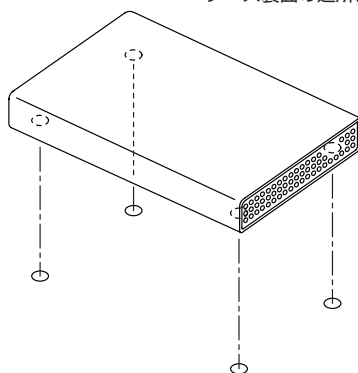
・ハードディスクおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
・ハードディスク接続の際には、静電気に十分注意して下さい。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になる事があります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使い下さい。
・組み立てにはプラスドライバーが必要です。本製品には付属しておりませんのであらかじめご用意ください。

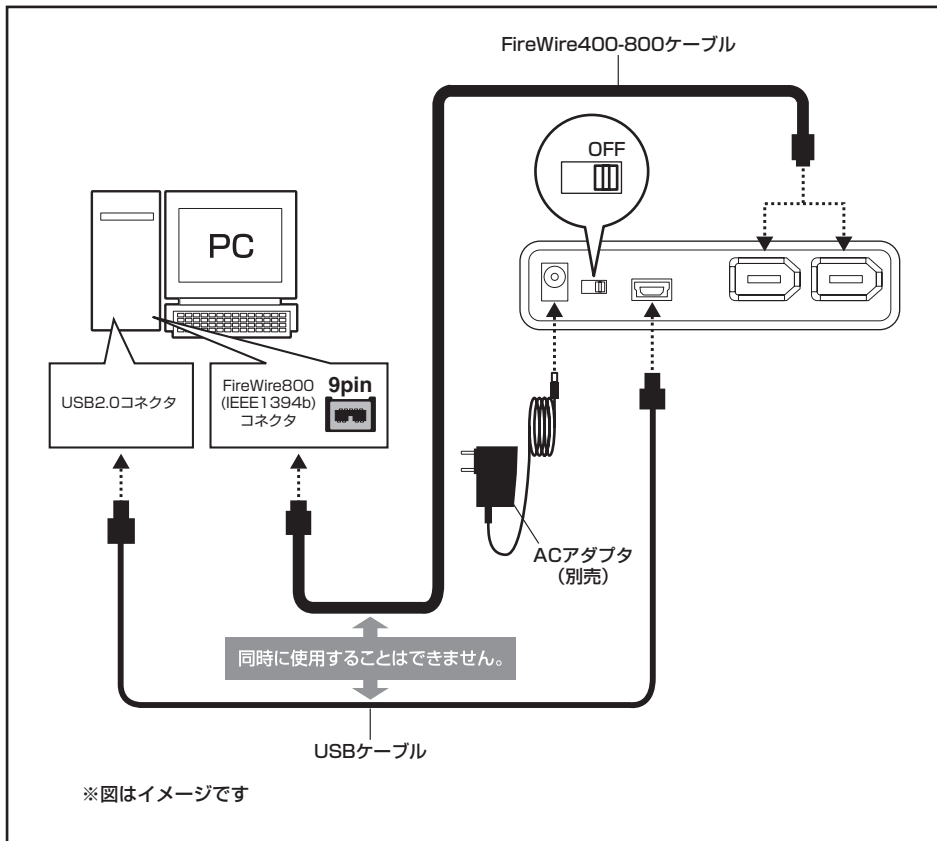
※注意
既にデータの入っている HDD を接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

⚠警告	・HDD のコネクタやエッジで手を切らないように充分注意して作業を行ってください。

⚠警告	・本製品のケースや基板、HDD の基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

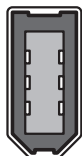
1：ケースを図のように分解し、内部の基板を取り出します。

２：HDD を取り付けます。
　HDD の接続ピンは折れやすく曲がりやすいので、十分に気を付けて取り付けを行ってください。

※コネクタのずれ挿しや半挿し状態で通電すると、ディスクや基板が破損します。間違いなく、奥まで正しい位置に接続されますようお気を付け下さい。

３：組み立てた基板をフレームにネジ止めし、固定します。

４：カバーをもとに戻し、ネジを止めて完成です。

■ゴム足の使い方

ケース裏面の適所に貼ってお使いください。

■ PC との接続方法

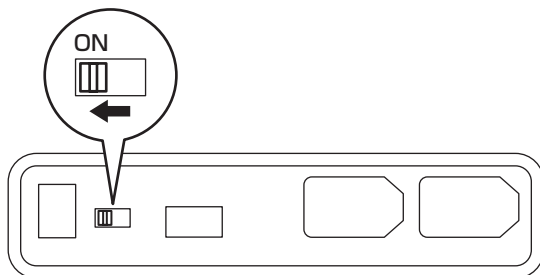
・本製品の電源スイッチが「OFF」の位置になっていることを確認し、下図のように PC と接続します。

■ AC アダプターについて

・本製品に組み込んだ HDD の消費電力が高く、USB ポートのバスパワーにて駆動しない場合、または、PC 側の FireWire ポートが電源供給されない 4 ピンタイプの場合は、別売の AC アダプターが必要になります。
本製品に対応した AC アダプターはセンチュリーオンラインショップ「センチュリーダイレクト」にてご購入可能です。
●オンラインショップ URL：http://century-direct.net
● AC アダプター型番：SA-0105-A

■ FireWire 接続時の注意

・お手持ちの PC に搭載されている FireWire コネクタが、6 ピン（FireWire400）の場合、別売の FireWire6 ピン -6 ピンケーブル、もしくは 9 ピン -6 ピン変換アダプターが必要になります。

・お手持ちのPCに搭載されているFireWireコネクタが､電源供給されない4ピンタイプの場合は、別売の FireWire6 ピン -4 ピンケーブルと AC アダプターが必要になります。

■電源スイッチについて

・本製品を PC と接続後、電源スイッチを「ON」にします。

【Windows での使用方法】

■ドライバのインストール

1：Windows を起動します。
2：コンピュータに「イッコイチ BOX 2.5 SATA」を接続します。
3：コンピュータが自動的に Windows 標準のドライバを検索してインストールします。すでにフォーマット済みの HDD を組み込んだ場合は、マイコンピュータにハードディスクドライブが認識されます。フォーマットされていない HDD を接続した場合は、領域の確保とフォーマットが必要ですので、下記「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

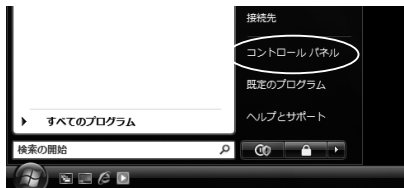
■内蔵した HDD をダイナミックディスクでフォーマットしていた場合

ダイナミックディスクは取り外しの出来ない内蔵用を前提としたディスクの容量確保形式ですので、本製品のような外付け HDD ケースにダイナミックディスクでフォーマットした HDD を内蔵すると、データの認識が出来ない等の不具合が生じる場合があります。
この場合、HDD のデータを別の場所にバックアップを取り、ベーシックディスク形式でフォーマットしなおしてご利用ください。
ダイナミックディスクかベーシックディスクかを確認するには、次ページの「ディスクの管理」画面にて確認できます。

■領域の確保とフォーマット

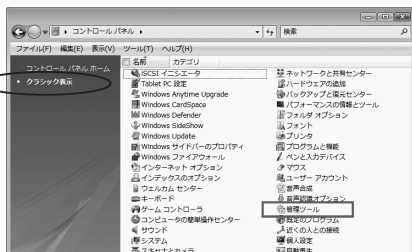
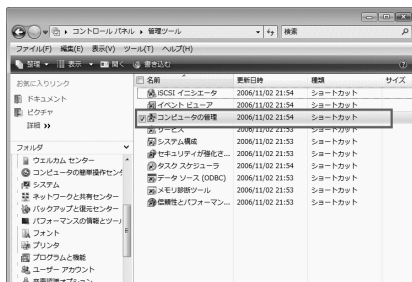
注意：この説明では、ハードディスクドライブにパーティションを分割しない設定で領域を確保する前提での操作を説明しています。パーティションの分割等の操作については、Windows の説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

□ Windows Vista の場合

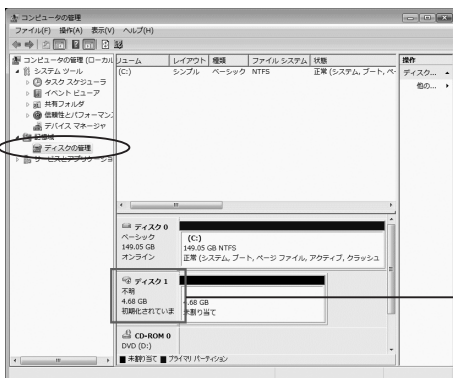
1.

フォーマットをするアプリケーションを起動するために、スタートから

【コントロールパネル】 →【クラシック表示】 →【管理ツール】

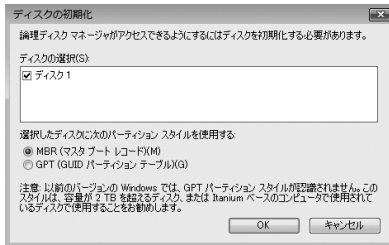
の順に開きます。

※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.

【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウインドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

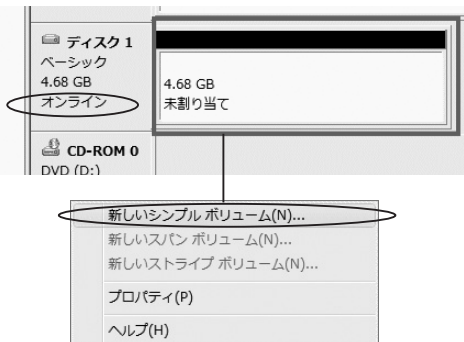
3.

【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.

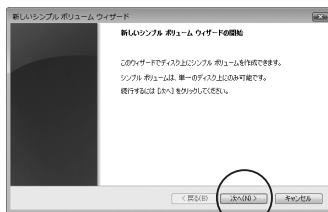
ディスクの初期化
論理ディスク マネージャがアクセスできるようにするにはディスクを初期化する必要があります。
ディスクの選択(S):
☑ ディスク 1
選択したディスクに次のパーティション スタイルを使用する:
◉ MBR (マスタ ブート レコード)(M)
◯ GPT (GUID パーティション テーブル)(G)
注意: 以前のバージョンの Windows では、GPT パーティション スタイルが認識されません。このスタイルは、容量が 2 TB を超えるディスク、または Itanium ベースのコンピュータで使用されているディスクで使用することをお勧めします。
OK キャンセル

【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

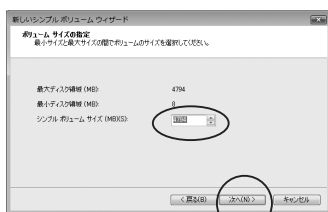
先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします
※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては 2TB 以上の容量を扱う場合以外は、MBR 形式を使用する事をお勧めします。

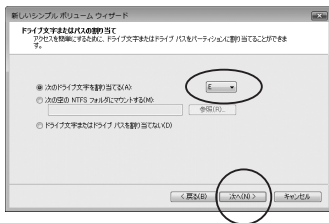
GPT 形式は、Windows 2000 や Windows XP 等では読み書きすることが出来ません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TB を超える容量が扱えない場合もございます。
GPT 形式であれば 2TB を超える容量が扱える訳では無いことに注意してください。

5.

【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると､ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.

【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

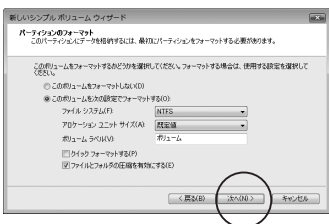
7.

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、C が起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号の一番若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空の NTFS フォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windows のヘルプや参考書をご参照ください。

9.

【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

・ファイルシステム

NTFS と FAT32 が選択可能です。

※ FAT32 では 32GB 以上の領域をフォーマットできませんので、32GB 以上の領域を使用する場合は NTFS でフォーマットを行ってください。

・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマット

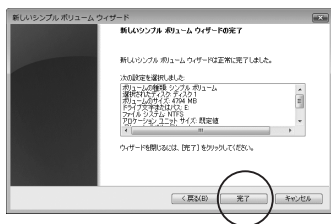
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

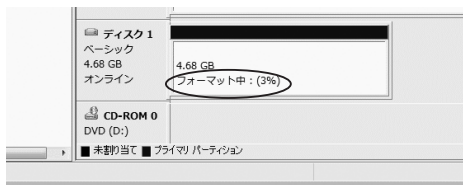
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

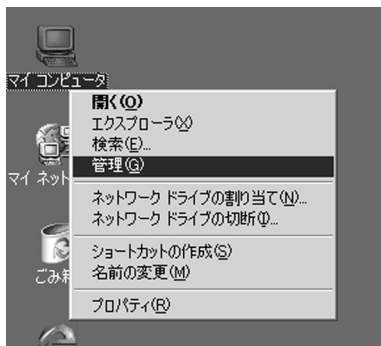
10.

【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

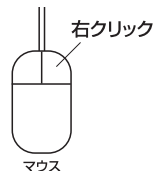
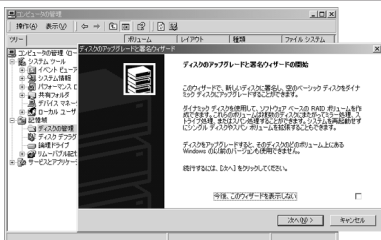
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

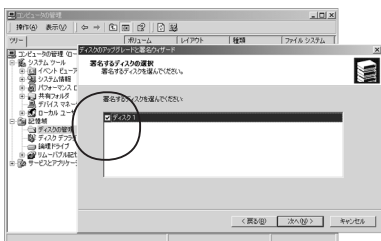
11.

これでフォーマットの作業は完了です。
ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

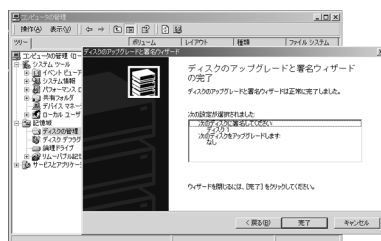
□ Windows 2000 / Windows XP の場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインしておこなってください。

1.

デスクトップのマイコンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。

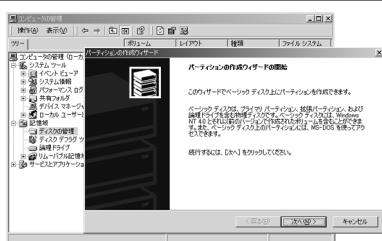
2.

「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

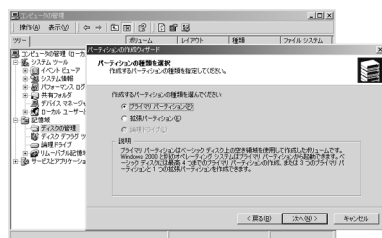
3.

「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

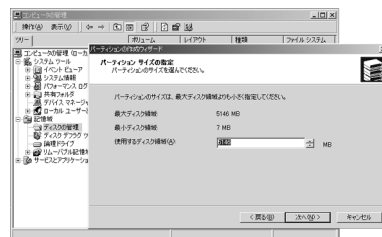
4.

「ディスクのアップグレードと署名ウイザード完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウインドウを閉じます。

5.

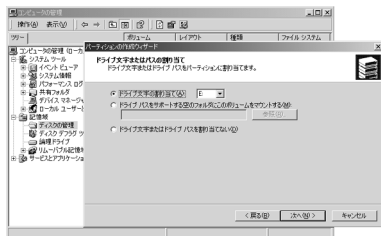
次にパーティションの作成を行います。
「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成（Ｐ）..」を選択します。

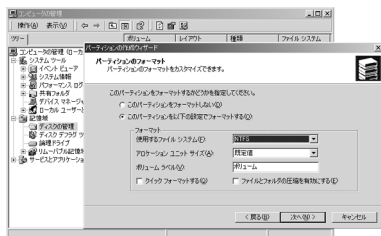
6.

「パーティション作成ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

7.

「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※一つのディスク上に５つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウイザード」を繰り返して行う事で、複数のパーティションを作成する事が出来ます。

9.

「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウインドウが表示されます。
ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。
※「ドライブパスをサポートする空のボリュームにマウントする（M)」は Windows2000、XP の機能で、元々あったハードディスクの中に、新しいハードディスクを増設する方法です。詳しくはお使いの Windows の説明書､ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.

「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。
このウインドウでフォーマット設定をする事が出来ます。

・使用するファイルシステム

NTFS と FAT32 が選択可能です。

※ Windows 2000、XP では 32GB を越える FAT32 ボリュームをフォーマットする事が出来ません。

・アロケーションユニットサイズ

アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

・ボリュームラベル

「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。
以前フォーマットされていた HDD のみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットする事ができません。

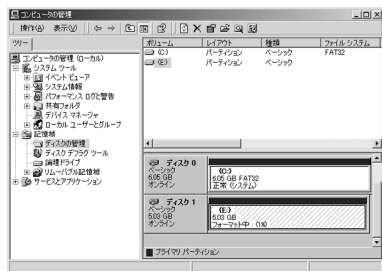
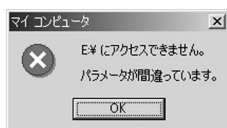
・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

Windows のファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納する事により、実際の容量よりも大きく使用する事が可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いの Windows の説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

全て設定して「次へ」をクリックします。

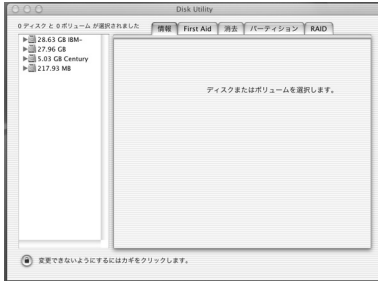
11.

「パーティション作成ウイザードの完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

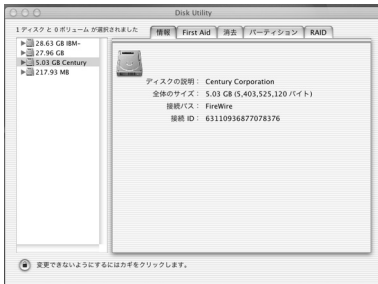
12.

フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
フォーマット中は、コンピュータの電源を切ったり、イッコイチ BOX 2.5 SATAのケーブルを取外したり、Windows を終了しないでください。故障の原因となります。

【Macintosh での使用方法】

MacOS X では MacOS 標準のドライバを使用します。
※あらかじめ MacOS9.x で初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。
MacOS X でのフォーマットは OS 標準の「Disk Utility」を使用します。

1.

「Disk Utility」を起動します。
※「Disk Utility」は、アプリケーション> Utility の中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
イッコイチ BOX 2.5 SATA は、「xx GB Century」と表示されます（xx は接続した HDD の容量）

これをクリックして選択します。

2.

接続されているディスクの情報がされます。

3.

上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式
：作成するボリューム数を選択します。8 つまで分割して作成する事が可能です。

ボリューム
：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報
：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択するとパーティション毎に設定を変更する事が可能です。
名前
：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS 標準、MacOS 拡張、UNIX ファイルシステム、空き容量が作成できます。通常は MacOS 標準か MacOS 拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9 ディスクドライバをインストールチェックをすると MacOS9 で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

4.

全て決定したら右下の「OK」をクリックします。警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.

パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンを Dock の中のごみ箱にドロップします。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下をお試しください。
・USB コネクタが正しく接続されているかを確認する。
・Power/Access LED が点灯しているかを確認する。
・PC によっては接続したまま OS を起動すると認識しないものがあるため、USB コネクタを接続しなおしてみる。

■ノートパソコンの IEEE1394 ポートに接続しても作動しない

ノート用 IEEE1394 ポートは電源を供給しない 4pin タイプのものが多いようです。
4pin タイプでの接続には AC アダプター（別売）が必要になります。

■ Power / Access LED が点灯しても HDD が回転している音がしない

USB コネクタが正しく接続されているかをご確認ください。

■転送速度が遅い

USB1.1 接続の場合バスの転送速度が遅いため、高速な転送は行えません。
おおよそ 1MB/ 秒弱の転送速度となってしまいます。

■ Windows 2000 でフォーマットを行うと「フォーマットが完了しませんでした」とダイアログが表示され、フォーマットできない

Windows 2000 の場合、32GB を越える FAT32 パーテイションを作成することができません。

— ご注意 —

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れ等、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり､本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等に付きましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十余二翁原240-9

TEL 04-7142-7533（平日 午前10時～午後5時まで） FAX 04-7142-7525

http：//www.century.co.jp/ e-mail : support@century.co.jp

【お願い】 修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。